

平成 30 年度森林税事業の重点的な取組について

- ◆里山整備利用地域の認定 p1
- ◆里山整備方針の作成 p4
- ◆森林税の見える化に向けた取組 p7

里山整備利用地域の認定

1 概要

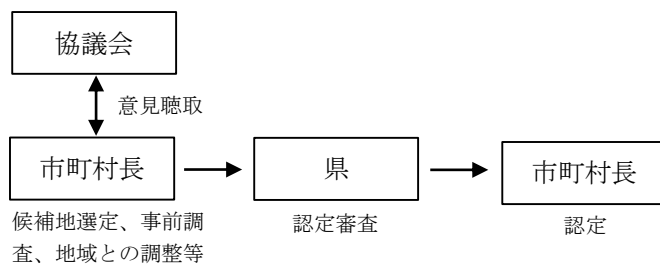
住民協働による里山の整備を促進するとともに、木材利用をはじめとする多面的な森林資源利活用を進めることで、森林と地域の関係性を再生し、自立的・持続的な森林づくりを推進

2 里山整備利用地域とは

地域住民等が自発的な活動をしようとする里山を「長野県ふるさとの森林づくり条例」に基づき、市町村長の申出により県知事が認定

認定地域には、地域協議会が立ち上がり、里山の整備や利活用を推進

[認定の手順]



3 認定地域における支援事業

平成 30 年度から森林づくり県民税を活用して認定地域の取組を支援

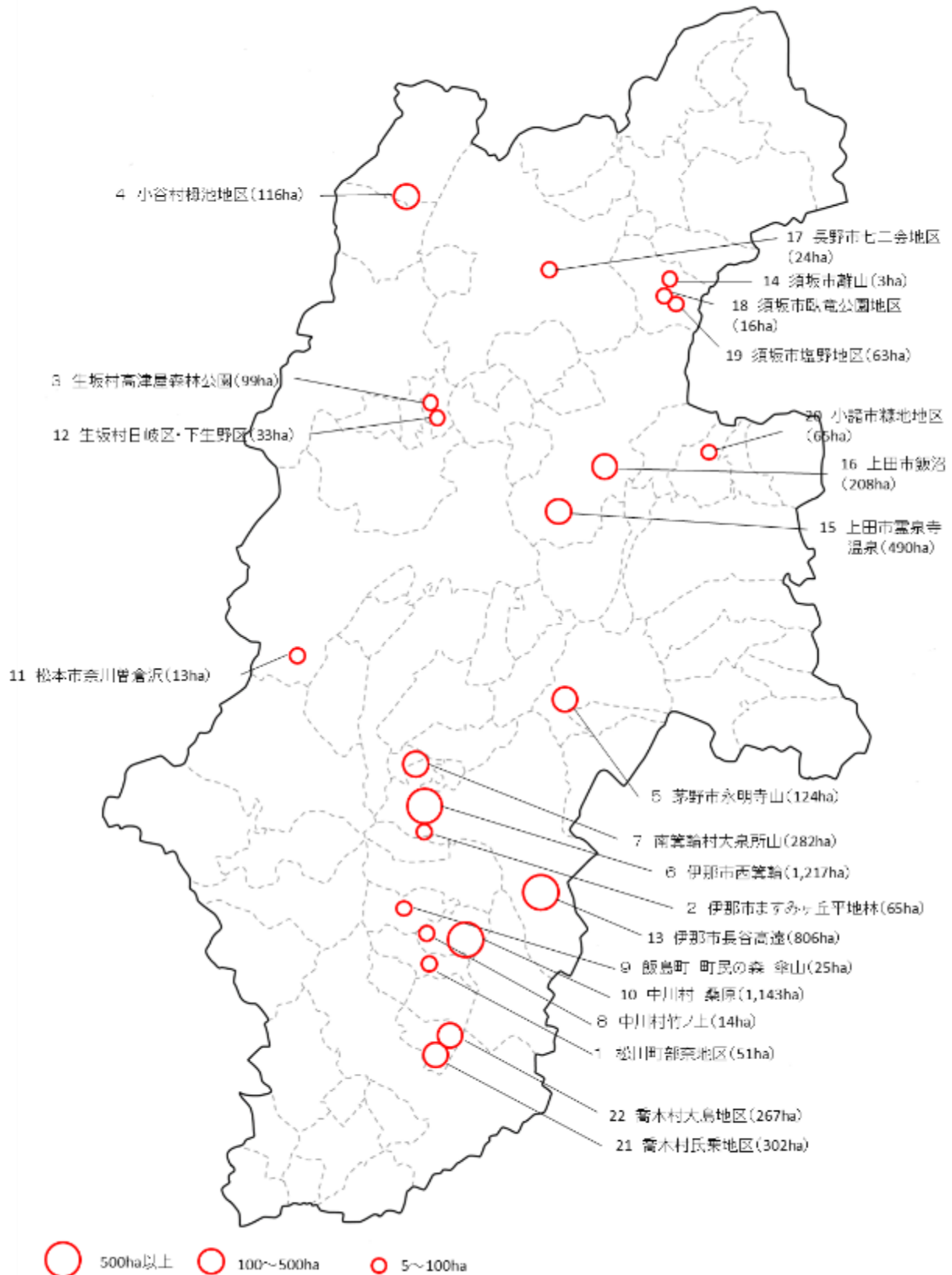
事業名	事業主体	補助率	事業内容
県民協働による里山の整備・利用事業	協議会	10/10	認定地域で行われる地域活動及び薪
		3/4	割り機等の資機材の導入
里山整備利用地域リーダー育成事業	県	-	里山を管理・利用するコーディネーターや技術指導を行う人材を育成
みんなで支える里山整備事業	森林組合、NPO、協議会等	9/10	間伐や植栽等の多様な里山の整備
地域で進める里山集約化事業	協議会、自治会、森林組合等	定額	森林所有者の同意取得等の条件整備

里山整備利用地域の認定状況一覧

【平成 30 年 12 月 25 日時点】

番号	認定年月日	市町村	認定地域名	面積 (ha)	協議会名称
1	H18.3.31	松川町	部奈地区	51	部奈地区里山整備利用推進協議会
2	H19.3.29	伊那市	ますみヶ丘平地林	65	NPO 法人伊那谷森と人を結ぶ協議会
3	H20.1.25	生坂村	高津屋森林公園	99	生坂村高津屋森林公園管理組合
4	H20.3.27	小谷村	柵池地区	116	柵池地区里山を守る会
5	H21.11.20	茅野市	永明寺山	124	永明寺山ふれあいの森を創る会
6	H30.7.23	伊那市	西箕輪	1,217	西箕輪薪の会
7	H30.7.23	南箕輪村	大泉所山	282	大泉所山整備利用推進協議会
8	H30.8.20	中川村	竹ノ上	14	竹ノ上里山整備利用推進協議会
9	H30.8.21	飯島町	町民の森傘山	25	町民の森里山整備利用推進協議会
10	H30.9.5	中川村	桑原	1,143	桑原里山整備推進協議会
11	H30.9.13	松本市	奈川曾倉沢	13	奈川地区里山整備協議会
12	H30.9.21	生坂村	日岐区・下生野区	33	未来に残す里山整備利用推進協議会
13	H30.9.28	伊那市	長谷溝口	806	溝口区里山整備利用推進協議会
14	H30.9.28	須坂市	離山	3	離山を守る会
15	H30.10.25	上田市	霊泉寺温泉	490	霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクト
16	H30.10.25	上田市	飯沼	208	里山環境整備プロジェクトチーム
17	H30.10.25	長野市	七二会地区	24	NPO 法人信州フォレストワーク
18	H30.12.11	須坂市	臥竜公園地区	16	臥竜公園里山整備利用推進協議会
19	H30.12.11	須坂市	塩野地区	63	塩野地区利用推進協議会
20	H30.12.11	小諸市	糠地地区	65	糠地地区里山整備利用推進協議会
21	H30.12.18	喬木村	氏乗地区	302	氏乗里山整備協議会
22	H30.12.18	喬木村	大島地区	267	大島地区里山整備利用推進協議会

里山整備利用地域の認定位置図



里山整備方針の作成

1 概要

【里山整備方針とは】

「防災・減災」に資する森林整備の方針と、その方針に基づき森林整備を実施する箇所（優先整備箇所）を示した図面のこと。この優先整備箇所が「みんなで支える里山整備事業（防災・減災）」の補助対象となる。

【趣旨】

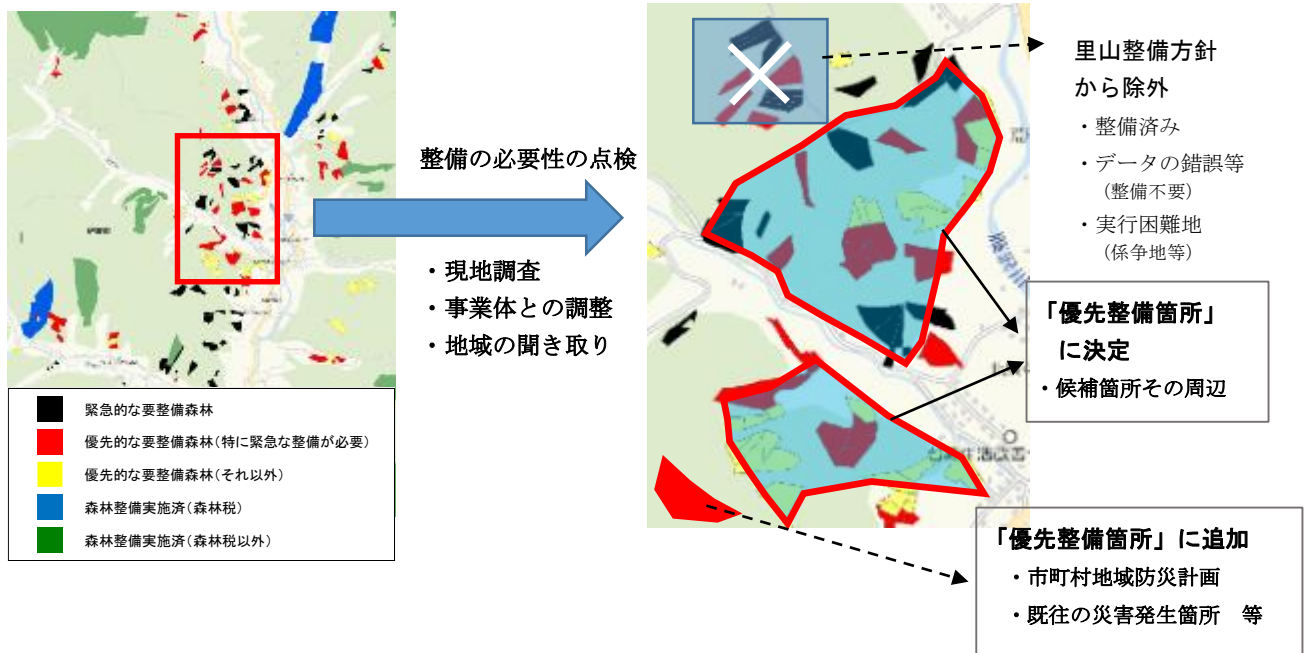
森林税を活用した防災・減災の取組の「見える化」を図る。

【図面に明示されるもの】

- ・防災・減災の観点から森林整備を優先して実施すべき箇所（みんなで支える里山整備の実施予定箇所）
- ・里山整備利用地域の認定（認定見込み箇所を含む） → 区域のみ

2 里山整備方針の作成手順

県が航空レーザ測量等による優先整備箇所候補のデータを市町村に提供し、現地調査等を実施のうえ市町村が優先整備箇所を決定



3 里山整備方針の決定、公表

市町村が「里山整備方針」として作成。執務室に備え置くかHPに掲載することで公表。
(事業の実施の必要性等を精査し、現地調査等の結果に基づき、随時見直しが可能)

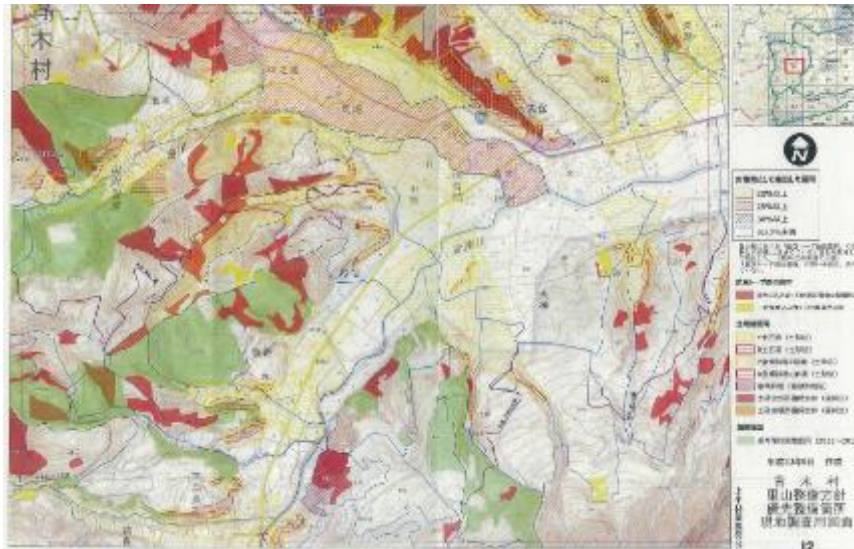
里山整備方針の作成状況

【平成 30 年 12 月 25 日時点】

- 全ての市町村にリモートセンシングによる優先整備箇所のデータを提供済み
- 全ての市町村で里山整備方針の検討に着手
- 平成 30 年度中に、115 か所で里山整備方針が作成される見通し

～取組事例～ （上田地域振興局管内）

- ① 県から提供した優先整備箇所のデータの他、法規制箇所、施業履歴、森林路網等を表示した図面を作成＝ 現地調査用図面



- ② ①の図面を基に、市町村・森林組合・県地域振興局の担当で優先整備箇所選定のための打合せを実施



- ③ 森林組合の GIS や空中写真等の情報も併せて検討

空中写真で見るとここか…
集落にも近いな



④ ②の打合せ結果を踏まえ、現地調査を実施



⑤ 森林の現況や路網の状況を確認し、間伐等の森林整備の緊急性・実行可能性の両面から施業の方針を検討



⑥ 検討結果に基づき、今後森林所有者へ施業提案を行い、同意を得られれば森林組合が間伐を実施。

◎ポイント

- ・様々な森林情報を集約し、図面として共有することで、整備の必要性が高い箇所から効率的に現地調査等を行うことが可能。
- ・市町村、林業事業者（森林組合）、県の3者が共同で調査を行うことで、それぞれの持つ情報や視点を集約し、実効性の高い計画を作成可能。

森林税の見える化に向けた取組

これまでの県民アンケートの結果では、森林税の用途の認知度が低位にとどまっております。世代別では特に若年層の認知が低いことから、第3期森林税では

- ◎若い世代を意識した積極的かつ効果的な広報に努めること
- ◎森林税を活用して整備した森林への看板設置や間伐材等を利用した標識の設置
- ◎子どもの居場所となる児童センター等の木質化

等を通じ、身近な場所で森林税の成果を実感していただけるような取組みを強化。

これまでの主な取組

【ロゴマーク・PRキャラクターの作成】



【SNS等での発信】

ブログ： 信州森林づくり応援ネットワーク
<https://blog.nagano-ken.jp/mori/>



フェイスブック： 長野県林務部
<https://www.facebook.com/naganokenrinmubu1/>



ツイッター： 里やんと山ちゃんの信州の山情報。
https://twitter.com/mori_nagano



【地域広報誌・フリーペーパー等でのPR】

Kisojin
(木曾人)
2018 Vol. 16



週刊いな
2018. 11. 22

【イベント等でのPR】

- ・クラフトフェア in 北竜湖
- ・協働組合フェスティバル
- ・秋の大収穫祭
- 他 各地域で実施



森林税 PR Myハシづくり体験



キャラクター焼印

